

宗岡せせらぎ学園

(宗岡小学校、宗岡第三小学校、宗岡第二中学校)

令和6年度研究紀要

研究テーマ

「ふるさと宗岡を愛し、誇りを持って、地域に貢献する
子供の育成～確かな学力を身に付け、夢に向かって
チャレンジする15歳～」



令和7年2月

1 研究主題

「ふるさと宗岡を愛し、誇りを持って、地域に貢献する子供の育成」

—確かな学力を身に付け、夢に向かってチャレンジする15歳—

2 研究主題設定の理由

- むねおかせせらぎ学園では、環境要因として保護者の代より地域で暮らしている家庭が多い。この地域愛を強みとする教育活動を展開することで、地域に貢献する子供を育成することを目指した。
- 地域の歴史や文化、伝統を誇りにすることで、地域で生きることを自分事としてとらえさせることをねらいとした。地域の方々を成長モデルとして身近に感じさせることで、夢や目標に向かって挑戦・努力する児童生徒の育成を目指した。
- 地域の実態として、児童生徒の自己肯定感や学習意欲が課題として挙げられる。9か年の指導実践に連続性・継続性をもたせ、学びの積み重ねによる学力向上を実現することを目指した。

3 視点

(1) 小中一貫カリキュラムシートの作成

小・中学校の教員が義務教育9か年を見通した学びの積み重ねや成長モデルを共有し、地域が一体となった教育活動を展開する。特に、年間指導計画等について視点（指導の重点、評価、学習の進め方等）を明確にし、児童生徒の実態を踏まえた取組を焦点化することで、質の高い教育活動を実現する。

(2) せせらぎ部会（教科部会／専門部会）の構築

宗岡せせらぎ学園の3校が協働することにより、教科指導および生徒指導・教育相談の両面で児童・生徒理解を深める。また、進級・進学時のギャップ軽減や、意図的かつ一貫性のある指導の在り方へとつなげる。

4 研究の組織

(1) ワーキンググループ会議

研修に係る企画・運営について協議を行う。校長、教頭、主幹教諭・教務主任により構成し、意思決定や研究実践が迅速に行われるようにした。（毎月開催）

(2) せせらぎ部会

教科部会、専門部会の二部で構成する。全教員がいずれかの部会に所属する組織体制を整えた。校長・教頭が各部のファシリテーターを務め、部長を中心にボトムアップで研究が推進できるようにした。（隔月開催）

- ① 教科部会…国語部、社会部、数学・算数部、理科部、音楽部、図工・美術部、保健体育部、技術家庭部、外国語部、特別支援教育部による10分科会を編成し、主にカリキュラムシートを作成する。
- ② 専門部会…生徒会・児童会部、むねおか学・地域連携部、進路・キャリア教育部、生徒指導部、教育相談部、特別の教科道徳部による6分科会を編成し、行事や実践の企画、指導計画やカリキュラム等に係る資料を作成する。

以上、各研究組織の推進にあたっては、研修に付随する業務負担（会場・資料準備や学校間移動等）に最大限に配慮し、オンライン会議やクラウドデータによる共同編集を最大限取り入れた。

宗岡第二中学校区小中一貫教育推進ワーキンググループ			
◇研修企画・運営 ◇調査・分析 ◇研究紀要作成			
■宗二中		■宗小	
■宗三小			
[主な役割分担]	[研究紀要作成]	[研修企画]	[調査・分析]
校長	伊藤 大輔	堤 孝志	田中 孝幸
教頭	大木 雄平	高橋 俊浩	林 浩子
主幹教諭・教務主任	大坪 伸行	渡部 祐輝	堀内 洋子

せせらぎ部会 1											
部会/各部	教科活動推進部会 ◎部長 ○副部長										
	国語部	社会部	数学・算数部	理科部	音楽部	図工・美術部	保健体育部	技術家庭部	外国語部	特別支援教育部	
ファシリテーター	堀内 洋子 [宗小]		高橋 教頭 [宗小]		林 教頭 [宗三小]			田中 校長 [宗三小]		伊藤 校長 [宗二中]	大木 教頭 [宗二中]
今年度重点	・9年間を見通したカリキュラムの編成 ・共通の授業展開・指導内容・ノート指導等 ・授業交流（相互授業参観・乗り入れ授業）計画・試行										
宗岡第二中学校	戸田 優美子 [1年] ◎鈴木 久美子 [2年] ◎大木 由紀子 [3年]	◎菅原 夏実 [2年] ◎藤原 俊之 [3年]	加藤 千枝 [1年] ◎磯部 勇志 [1年]	◎門出 朋美 [2年] 小出 賢志 [1年]	藤原 正子 [1年]		大坪 伸行 [教務] ◎佐藤良輔 [3年]	◎石川 航 [2年] ◎川名 輝葉 [3年]	萩村 祐二 [1年] ◎澤田 陽菜 [2年] ◎高川 真成 [3年]	◎若本 千鶴 [特] 中野 旭人 [特] 山本 美紀 [養護] 山田 悠平 [特]	
宗岡小学校	佐藤 亜紗実 [1年] ◎藤原 あかり [2年] ◎山野真由美 [スマート]	◎藤原 雄一 [3年] ◎新田 夏樹 [5年]	岡 彩夏 [3年] ◎田中 真真 [4年] ◎藤原 祐希 [主幹]	◎藤原 悠樹 [理科] ◎崎崎 直美 [スマート]	◎藤原 亮佑 [音楽] 工藤 恵倫子 [2年]	◎藤原 由美 [特] ◎鈴木 美奈 [1年]	◎藤原あかね [4年] ◎武田 早那恵 [養護]	◎菅司 玲子 [5年] ◎内田 千枝 [6年]	◎藤原 愛良 [外国語] ◎米澤 彩香 [6年]	◎藤原 実海 [特] 長坂 和貴 [特] ◎堀口 佳祐 [特]	
宗岡第三小学校	石原 サカ江 [1年] ◎中島 奈津 [4年]	◎丸山 直己 [3年]	◎藤本 優奈 [2年] ◎高橋 茂樹 [算数] ◎高木 拓 [スマート]	◎中山 亮 [5年] ◎鈴木 光 [理科]	◎田中 環己 [音楽] 堀内 洋子 [主幹]	◎神山 由紀子 [2年] ◎久保 聡子 [スマート]	◎星野 望緒 [1年] ◎多良良龍太郎 [3年]	◎和泉 佳奈子 [5年]	◎藤田 唯々香 [4年] ◎中野 啓部 [6年]	◎平石 秀男 [特] ◎櫻橋 祥章 [特] ◎伊藤 恵 [道徳] ◎石原 さやか [養護]	
成果物	①道徳カリキュラムシート ②社会カリキュラムシート ③理科カリキュラムシート	④算数カリキュラムシート ⑤国語カリキュラムシート	⑥音楽カリキュラムシート ⑦図工美術カリキュラムシート	⑧保健体育カリキュラムシート	⑨技術家庭カリキュラムシート	⑩外国語カリキュラムシート	⑪特別支援教育カリキュラムシート				

三校の全教員（校長・教頭を除く）が ◆「せせらぎ部会1」のうち1つ ◆「せせらぎ部会2」のうち1つ に所属する。

せせらぎ部会 2						
部会/各部	生徒会・児童会部	むねおか学・地域連携部	進路・キャリア教育部	生徒指導部	教育相談部	特別の教科道徳部
	◎部長 ○副部長	◎部長 ○副部長	◎部長 ○副部長	◎部長 ○副部長	◎部長 ○副部長	◎部長 ○副部長
ファシリテーター	林 教頭 [宗三小]	高橋 教頭 [宗小]	大木 教頭 [宗二中]	伊藤 校長 [宗二中]	堀 校長 [宗小]	田中 校長 [宗三小]
今年度重点	生徒会・児童会の交流 合同行事について検討	むねおか学の試行、年間指導計画修正 地域連携の具体案、連携者リストの作成	キャリア教育の年間計画作成 キャリアパスポートの活用検討	生徒指導部会の共催・ケース会議 積極的生徒指導について共通理解	教育相談部会の共催・ケース会議 小中連携シートの作成（不登校）	授業スタンダード作成（授業展開、紙書等） 相互授業参観（オンラインを含む）
宗岡第二中学校	◎菅原 夏実 [2年] ◎大坪 伸行 [教務]	◎1年 加藤 千枝 ◎2年 西村 翔太 ◎3年 藤原 俊之	◎4年 高川 真成 [3年] ◎門出 朋美 [2年]	◎藤原 正子 [1年] ◎中野 旭人 [特]	◎石川 航 [2年]	◎若本 千鶴 [特] ◎大木 由紀子 [3年] ◎永田 龍平 [特]
宗岡小学校	◎内田 千枝 [6年] ◎佐藤 あかり [2年]	◎3年 岡 彩夏 ◎4年 菅原 あかね ◎5年 菅 奈々	◎藤原 悠樹 [理科] ◎藤原 亮佑 [音楽] ◎藤原 祐希 [主幹]	◎藤原 実海 [特] ◎工藤 恵倫子 [2年] ◎堀口 佳祐 [特]	◎鈴木 美奈 [1年] ◎藤原 由美 [特] ◎藤原 亮佑 [特]	◎山野真由美 [スマート] ◎山本 美紀 [養護] ◎山田 悠平 [特]
宗岡第三小学校	◎藤本 優奈 [2年] ◎中島 亮 [5年]	◎3年 丸山 直己 ◎4年 中島 奈津 ◎5年 菅 奈々	◎久保 聡子 [スマート] ◎多良良龍太郎 [3年]	◎田中 環己 [音楽]	◎神山 由紀子 [2年] ◎高橋 茂樹 [算数] ◎鈴木 光 [理科]	◎石原 サカ江 [1年] ◎藤原 実海 [1年] ◎平石 秀男 [特] ◎櫻橋 祥章 [特]
成果物	生徒会・児童会交流計画	①むねおか学カリキュラムシート ②論点整理シート	キャリアパスポート	生徒指導のきまり	教育相談シート	①道徳カリキュラムシート ②道徳授業づくりシート

宗岡せせらぎ学園（宗岡第二中学校区） 小中一貫教育推進組織体制

5 研究の経過

月／日	曜日	開始	終了	会場	内 容
4／24	水	15:00	16:30	宗三小	ワーキンググループ会議①
5／1	水	14:30	16:30	宗二中	三校合同研修会①、せせらぎ部会 1・2①
5／10	金	13:00		3校	合同避難訓練（引き渡し訓練）
5／15	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 1（教科指導部）②
5／29	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 2（専門部）②
5／30	木	15:30	16:30	宗三小	ワーキンググループ会議②
6／12	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 1（教科指導部）③
6／19	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 2（専門部）③
8／26	月	14:00	16:30	宗二中	三校合同研修会② 学力向上理論研修（講義） せせらぎ部会 2（専門部）④
9／18	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 1（教科指導部）④
9／25	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 2（専門部）⑤
10／16	水	15:30	16:30	オンライン	ワーキンググループ会議③
11／20	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 1（教科指導部）⑤
11／27	水	15:50	16:30	オンライン	せせらぎ部会 2（専門部）⑥
12／5	木	15:30	16:30	オンライン	ワーキンググループ会議④
1／15	水	15:00	16:30	宗二中	三校合同研修会③ せせらぎ部会 1⑥・2⑦
1／23	木	15:00	16:30	宗三小	ワーキンググループ会議⑤
2／12	水	15:50	16:30	各校	せせらぎ部会 1（教科指導部）報告会
2／19	水	15:50	16:30	各校	せせらぎ部会 2（専門部）報告会
2／26	水	15:00	16:30	宗三小	ワーキンググループ会議⑥
3／19	水	15:30	16:30	オンライン	ワーキンググループ会議⑦

6 主な取組について

(1) 教科等部会の取組

国語部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

「自分の考えを明確にして、表現できる児童の育成」



国語カリキュラムシート

(2) 取組の概要

年間を通して「書くこと」のカリキュラムシートの作成に取り組んだ。「書くこと」の指導は、個人差や能力差が表れやすく、個別に学習が行われるという特色をもっているため、「書くこと」における9年間で付けたい力を具体的に記載した。また、各段階に応じた原稿用紙の使い方についての情報共有を行った。

社会科部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

まず日本、そのあと世界へ

(2) 取組の概要

学校区の課題を共有し、育てたい力と共通指導項目の共通理解を図った。それを踏まえて、1年間を通してカリキュラムシートの作成を行った。小・中間での都道府県テスト、世界の国名テストの様式を統一した。また、社会科に関する各校の備品を各校リストアップし、備品を共有できるようにした。

理科部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

「理科学的な思考の流れを言語化できるようにする」

(2) 取組の概要

年間を通して、視点を5つ（①身に付けさせたい力・②指導の重点・③単元例・④評価の重点・⑤指導の手立て）設定してカリキュラムシートの作成を行った。特に、各学年で身に付けさせたい力を明確にし、思考を言語化するためにポイントとなる予想や考察について、指導の重点を具体的なものにすることができた。また、ICTを活用したポートフォリオなど、指導の手立てを共有することができた。

算数・数学会

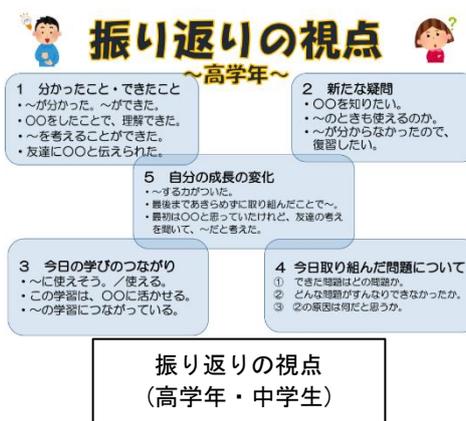
(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

「児童生徒が自ら学び合い、

一人ひとりに適した学びがある指導を目指して」

～「わからない」を積極的に共有し、

助け合うことで成長しよう～



(2) 取組の概要

視点を最終的に4点に絞ってカリキュラムシートを作成した。学校区の課題を踏まえて、①「計算」…9年間の連続性。②「評価」…自己評価の視点や文例（掲示物も作成）。③「生活との結び付け」…意識的に生活と結び付けたい題材や領域。④「問題の読み取り」…文章題を立式したり題意を理解したりする手立て。これらを指導の際に意識して行えるよう、シートに反映させた。

音楽部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

【分科会テーマ】

○ 音を楽しむ ～9か年を見通した基礎的な能力および表現力の育成～

【学校区の課題】

- 歌うときに表情が暗い、リコーダーも演奏が固い → 歌うこと・演奏が好きな児童生徒の育成
- 音符が読めない、記号が分からない → 簡単な楽譜を読みとれる児童生徒の育成

(2) 取組の概要

視点を歌唱・器楽・鑑賞の3点に分類し、低学年・中学年・高学年・中学生と段階的にカリキュラムシートを作成した。学校区の課題を踏まえ、9学年を通して、児童・生徒が基礎的な能力および表現力の育成のためにどのような力を身に付けるかを明確にし、小学校同士が連携して中学校でギャップが生まれないよう協議を行った。

図工・美術科部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

9か年を見通した表現及び鑑賞の活動の充実を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。

(2) 取組の概要

児童の課題点（表現力）を話し合い、テーマを決定した。今年度より、小学校図画工作科の教科書が変更になったことから、系統性を洗い出した。新しい題材もあり、9か年を見通せるようにカリキュラムシートにまとめた。また、前後の学年の学習内容(特に小6と中1)が、ひと目で分かるようにした。

保健体育部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

物事に粘り強く取り組む姿勢をもつ児童生徒の育成

(2) 取組の概要

5月の体力テストの結果を分析し、各校の体力課題に応じて体育の授業前に体力向上の取組を行った。宗岡第二中学校は2分間走と心拍数の測定を行った。宗岡小学校・宗岡第三小学校共にサーキットトレーニングを行った。来年度の新体力テストで効果の検証を行う。

外国語部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

自己表現のできる子供の育成（即興性のあるやりとり、事実や気持ちの発表）

(2) 取組の概要

学校区の課題「自分の気持ちを表現することが苦手な生徒が多い」「人前で英語を発することに抵抗がある」から、小中9年間の目標を「自己表現」に定め、「話すこと（やりとり・発表）」のカリキュラムシートを作成した。小学校では単語を中心とした「聞く・話す」活動、中学校では小学校で学んだ語彙を基に4技能を統合した言語活動を多く取り入れ、言語活動の充実を図りたい。

また、小中の繋がりを深めるため、それぞれの学校で行ったプレゼンテーションテストや筆記テストをgoogle classroomで共有し、評価基準や問題形式の統一を図った。今後は中学生のプレゼンテーションを小学生に見せ、9年間の到達段階を意識させたい。

特別支援教育部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

お互いの顔と名前を覚えて一緒に活動できるようにする。

(2) 取組の概要

各校の年間行事計画をお互いに確認しながら、カリキュラムシートの作成を行った。その中で、3校合同で取り組める活動を考え、お互いの顔と名前が覚えられるような関係づくりを進めることを確認した。また、保護者とも9か年一貫した関係がつけられるよう、中学校の教員が小学校の保護者会で説明するなどの取組を行った。

(2) 専門部会の取組

生徒会・児童会部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

異年齢の児童生徒同士で協力、交流しながら、自発的・自治的に学校生活の改善や向上を目指そうとする児童生徒。

(2) 取組の概要

各校の児童会、生徒会と連携しながら、以下の4点を作成・実施した。

- ①自校紹介動画(校長先生インタビュー、行事、施設等)
- ②中合同あいさつ運動(登校時の小中あいさつ交流)
- ③あいさつレベルアップ大作戦(校内掲示物)の検討と取組内容の紹介動画
- ④あいさつビンゴ(2学期)

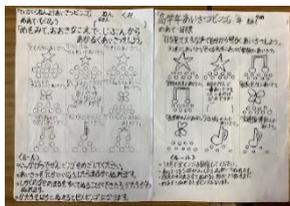
②



③

レベル5	相手や場所に合わせて
レベル4	あいてより先に
レベル3	あいての目を見て
レベル2	あいての心にとどくように
レベル1	小さな声でも
ここらの中で	ベコッと おじぎ

④



総合的な学習の時間部

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

ふるさと宗岡を愛し、誇りを持って、地域に貢献する子供の育成

(2) 取組の概要

生活科・総合的な学習の時間における9か年を見通し、小中一貫教育として地域探求学習の「むねおか学」のカリキュラムシートと年間指導計画を作成した。

カリキュラムシートの視点として、導入(課題意識を持たせる手だて)、地域との連携、発表形態、対象者、整理・分析を記載したことで、どの教諭でもできるように明確化した。

学びの積み重ねとして、小学校では、「むねおか」を知り、中学校では、「むねおか」を他の地域と比べ、地域貢献に向かうカリキュラムを作成した。

進路・キャリア教育部会

(1) 部会のテーマ・目指す児童生徒像

夢に向かってチャレンジする15歳

(2) 取組の概要

年間を通して各校の年間行事計画を活用し、カリキュラムシートの作成を行った。その中で、9か年を見通したキャリア教育を通じて育む児童生徒の姿を協議し、目指す児童生徒像を定めた。また、「キャリア・パスポート」を継続的に活用し、目指す児童生徒像に近づけるような取組について協議を行った。

教育相談部会

(1) 部会のテーマ

9か年を見通した児童の実態の確実な共有

(2) 取組の概要

「不登校」「家庭環境」「特別支援」の3つの観点で入力することのできる「宗岡せせらぎ学園 教育相談引継ぎシート」を作成した。このシートは、①児童の変容、②児童に対する効果的な手立て、③児童の情報の円滑な共有を行うことを目的に作成し、ABプランとの棲み分けを含め、具体的な記入例の作成まで行った。

手帳の有無/志木っ子サポートシートの有無		課題		1年生
療育手帳の有無	課題①		①現状	
	課題②		②1対策	
ABプランサポートシートの有無	課題③		2効果的だったもの	
			③関係機関との繋がり	
			④次年度への引継ぎ	

宗岡せせらぎ学園 教育相談引継ぎシート

生徒指導部会

「生活の決まり」について

令和7年使用

1 生徒手帳の新内容

② 恒変

〔1〕服装共通事項

- ①制服の際は、Vシャツ・ブラウス（白色）を着用する。
- ②ベルトは、黒・紺・茶・グレーで、柄や装飾の入ったものは不可。
- ③スカート丈は、膝が隠れる程度とする。
- ④靴下は、白・黒・紺・グレーが基本のものとする。
- ⑤履は、寒湿に備へたラッシュシューズ等を使い、湿のふれ（汗にかかた）を軽減することのできるものを着用すること。
- ⑥夏用の際や授業時には、長靴等の安全を考慮した靴を着用することが望ましい。
- ⑦靴の染めや脱色、飛沫料やジュル・ムースで靴を固めることはしない。
- ⑧通塾は、肩にかかるとは、黒・紺・茶・グレーの半色ゴムで結ぶ。肩にかかるとは、前髪を切るか、ヘアピン（黒）で留める。
- ⑨その組、教職員が声かけを要する身なり（髪型・服装等）と判断した場合、管理職・保護者等との協議の下、改善を求める。
- ⑩袴の着用は、夏までの期間を基本とする。
- ⑪服装に關しては、気温にふし、各自の判断で、夏服・冬服を選ぶことができる。

〔2〕夏服

- ①ネクタイ・リボン着用しなくてもよい。
- ②半袖・透袖のVシャツを着用し、女子は、Vシャツの上にベストを着用する。ベストは、指定のものを着用する。

〔3〕冬服

- ①冬用のコートは、黒・紺・茶・グレーのトント、ダッフルコートとする。防寒着として、指定ではないウィンドブレーカーを着用してもよい。
- ②防寒用のセーターは、Vネックで黒、紺・紺・茶・グレーとする。防寒用のインナーに關しては、体質等から見えにくい長袖のものを使用する。カーディガンは不可とする。
※セーターは防寒着なので、制限の内側に着用し、セーター姿での生活は基本的に認めない。
- ③冬のストッキング・タイツは、黒色とする。

〔4〕新しく決まる内容

- ①トラスやスタイルに關しては、使用を認めない。
- ②バッグにつけるアクセサリについては、教職員が声かけを要すると判断した場合、管理職・保護者等との協議の下、改善を求める。
※アクセサリが多すぎたり、高価なものがあつたりする際等
- ③刺繍に關しては、無刺繍でシートのタイプのもののみ使用を許可する。

（1）部会のテーマ・目指す児童生徒像

部会のテーマ

- ・小中間での情報共有
- ・小中でのルールの見直しと確認

目指す児童生徒像

- ・互いの良さを認め、協力できる児童生徒
- ・たくましく最後まで頑張りぬくことができる児童生徒
- ・夢に向かってチャレンジできる児童生徒

（2）取組の概要

- ・小中合同での生徒指導部会の開催
→新しく出てきた問題点等を、小中別々の立場で確認することができた。
- ・三校での生活に関するルール（校則）の見直しと検討
→校則の意義を共有することで、小学校段階からの生活指導の視点を確認することができた。
- ・小学校6年生の申し送りシートの検討
→情報共有のやり方の検討や必要事項の精選を行うことができた。シートを作成し、各小学校と共有をした。

図1：生活のきまりについて

特別の教科道徳部

（1）部会のテーマ

自信もてる道徳の授業

（2）取組の概要

学年の発達段階や各校の実態に合わせ、カリキュラムシートや授業づくりシートの作成を行った。また道徳を中心とした学級掲示や教員がローテーション授業を行う等、児童が多様な考えに触れ「答えが一つではない」ことに気づくことを通し、目指す児童生徒像に近づけるような取組について協議も行った。



道徳部員同士での授業参観

(3) その他の取組

合同避難訓練

(1) 目的

大地震の際、混乱せずに生徒を安全でスムーズに保護者へ引き渡すために、小中学校の教職員が相互に連携しながら震災への対応を行う。

(2) 取組の概要

宗岡小学校・宗岡第三小学校・宗岡第二中学校の3校が同日、同時刻に災害が起こったことを想定して避難訓練を実施した。各学校で校庭に避難した後、兄弟がいる中学生はその小学校へ移動し、保護者へ引き渡した。兄弟のいない児童生徒は各学校で保護者へ引き渡した。中学生が小学校へ移動することに関して、課題があったため、次年度へ向けて内容の検討を行った。



中学生が小学校へ向かう様子

乗り入れ授業（音楽）

小学校5年生を対象に、市内音楽会に向けた歌唱指導を実施した。中学校の教員が授業に入ることにより、より高い目標を見据えた専門的な指導が受けられるとともに、中学校教員への親しみが持てる機会となった。また、教員にとって、①異校種の学習実態を把握することによる継ぎ目のない指導 ②小・中学校間での指導法の共有へとつながった。



合唱指導の様子（10/2）

夏季合同研修会

8月26日に、十文字学園女子大学 塚田 昭一 教授をお招きし、「小中一貫教育における効果的な取組～9年間を通じた系統的な教育課程の編成～」というテーマでご講演いただいた。ご自身が勤められた新座市での取組や、戸田市などの先進的な事例を具体的に紹介していただき、2学期以降のカリキュラムシート作成などに生かすことができた。



塚田教授のご講演の様子

6年生スポーツ交流会

宗岡小学校と宗岡第三小学校の6年生が、宗岡第三小学校の体育館でスポーツ交流会を行った。交流種目は、各クラス対抗「1分間8の字跳び」と、2校混合チーム対抗の「貴族ドッチビー」で、前半は新しい仲間との出会いに緊張した様子が見られたが、後半は会話や笑顔も多く見られ、仲間意識も芽生えていた。事前の活動として、自己紹介を含めたサイコロトークやゲームを行ったことでも心理的な距離感を軽減できた。



7 宗岡せせらぎ学園アンケートについて

(1) 教職員アンケート結果まとめ

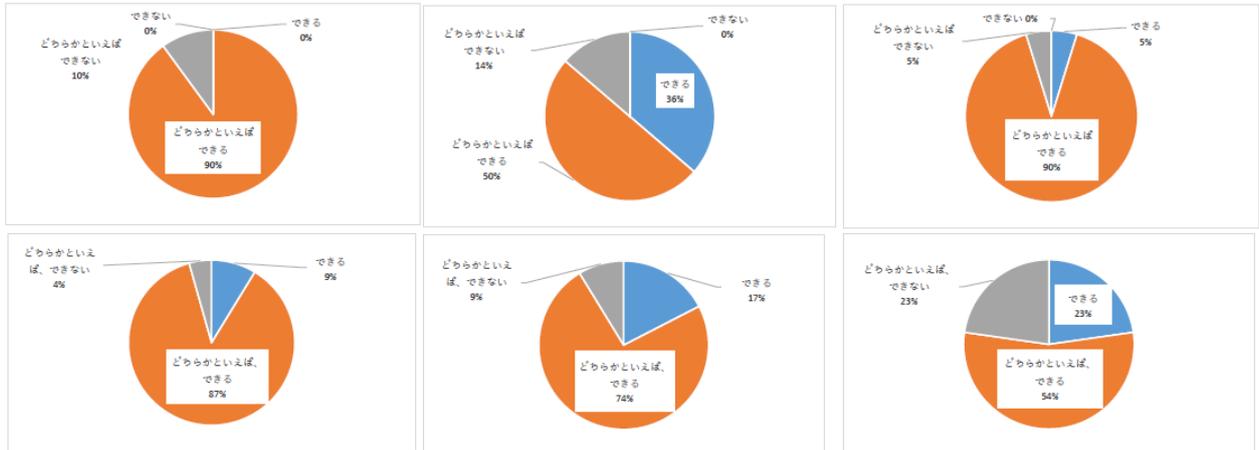
上段 7月
下段12月

宗小

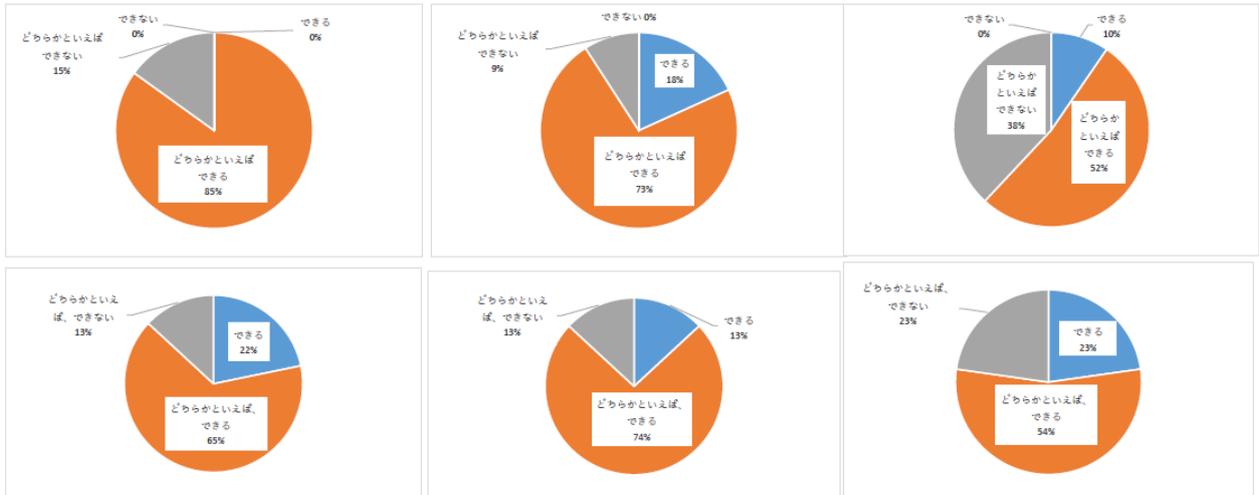
宗三小

宗二中

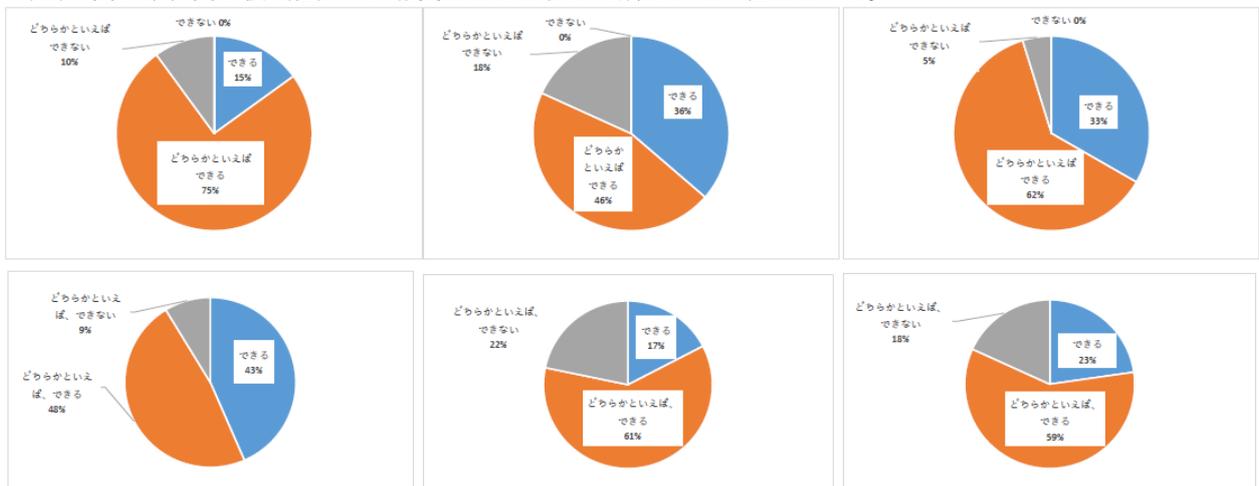
(1) 中学校区での9年間の育ちを意識し、小・中学校の学習のつながりを理解して、つまずきやすい内容の指導の工夫をし、「わかる授業」に結びつくように学習指導をしている。



(2) 合同の行事開催や交流活動等の実施によって、中学校区での9年間の育ちを意識したうえで、生徒指導をしている。



(3) 異学年、異学校(種)の教職員と協力し、教育活動に取り組んでいる。

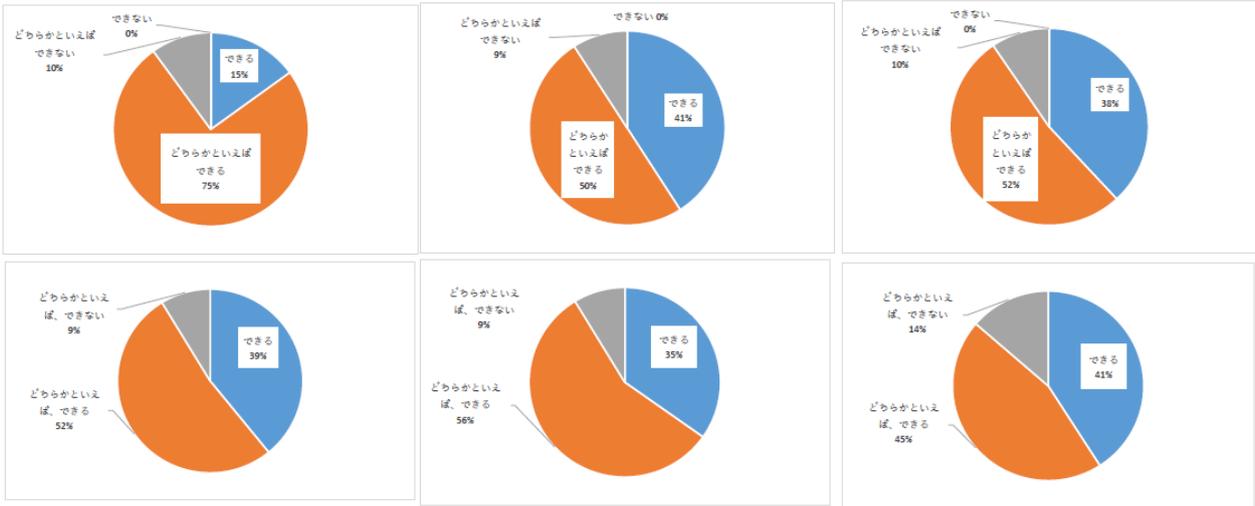


宗小

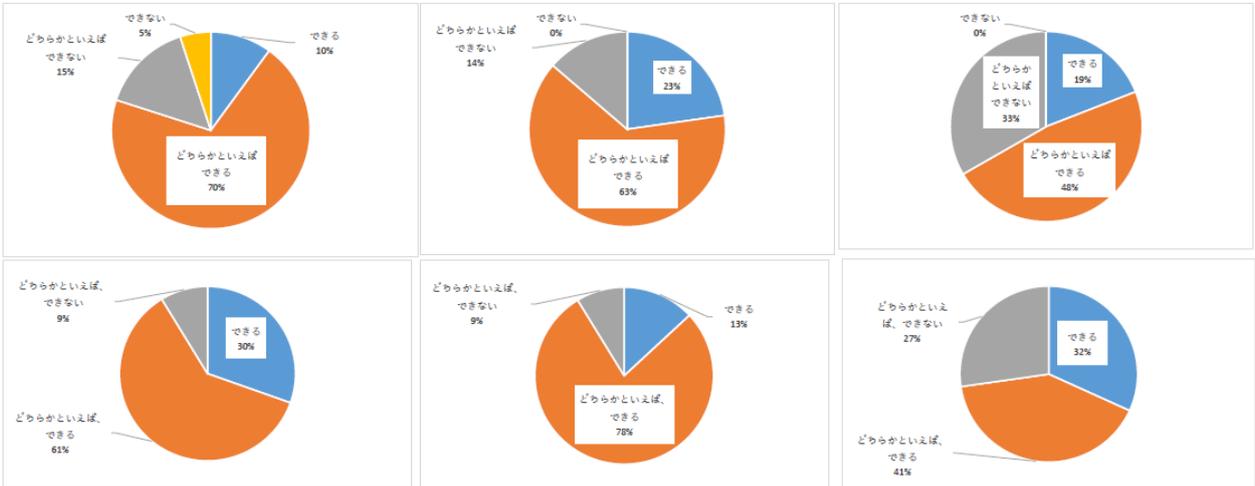
宗三小

宗二中

(4) 異学年、異学校(種)の教職員と情報連携・共有を行っている。



(5) 中学校区での連携により、児童生徒を多角的な視点で見ている。



(2) 小学校低学年アンケート結果まとめ

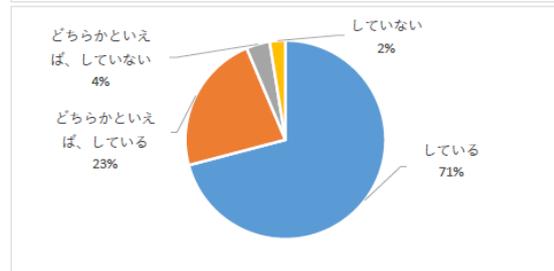
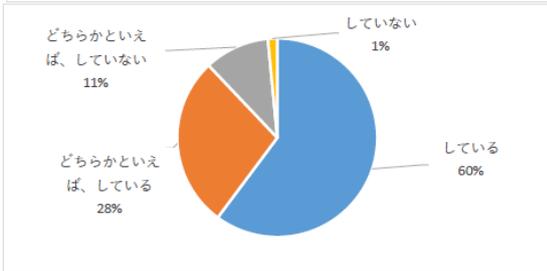
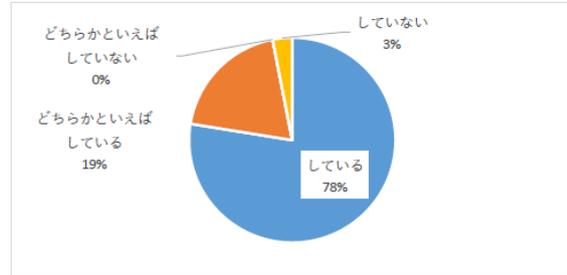
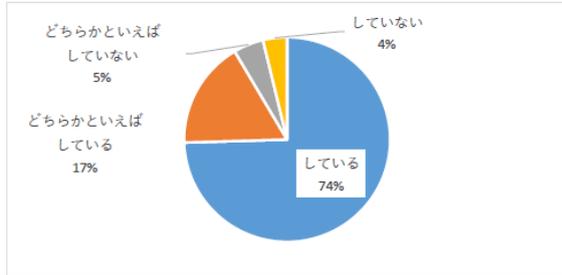
上段 7月

下段12月

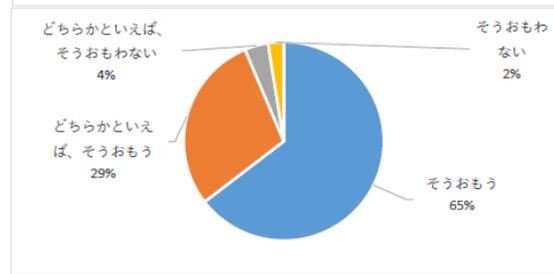
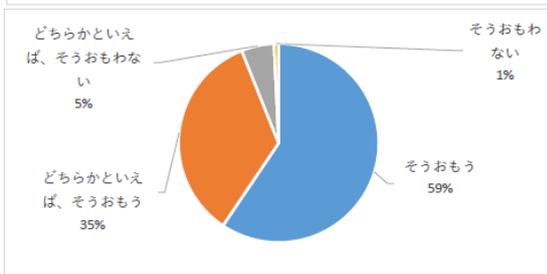
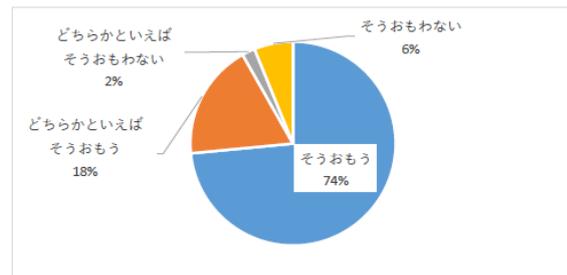
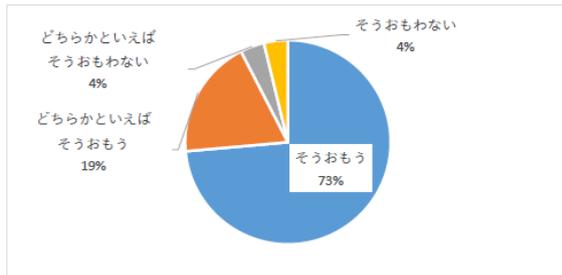
宗小

宗三小

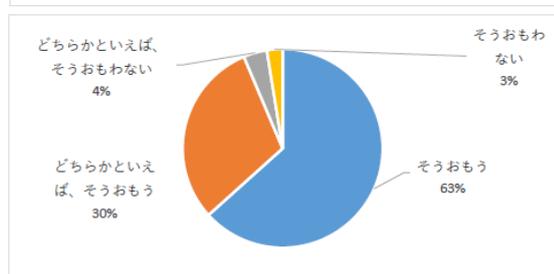
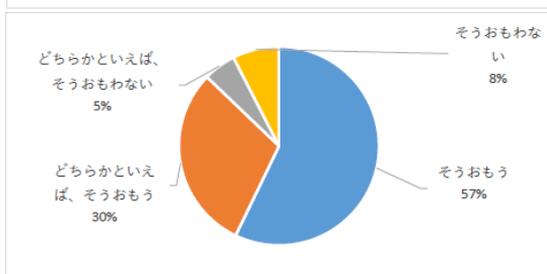
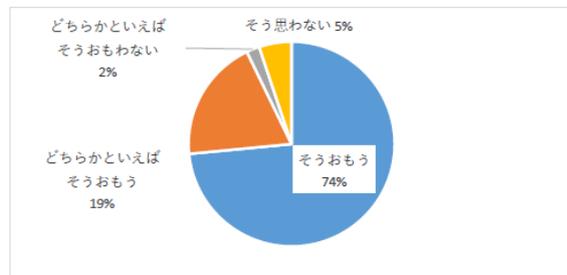
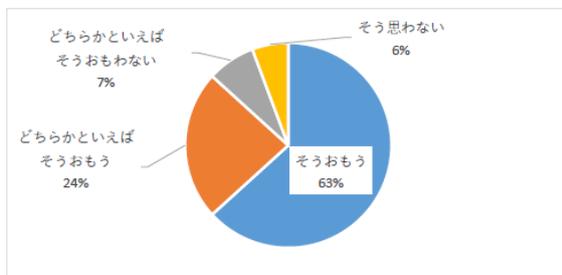
(1) じぶんのゆめや もくひょうにむかって、がんばっている。



(2) がくしゅうすることによって、じぶんができるようになったことが たくさんあるとcanじる。



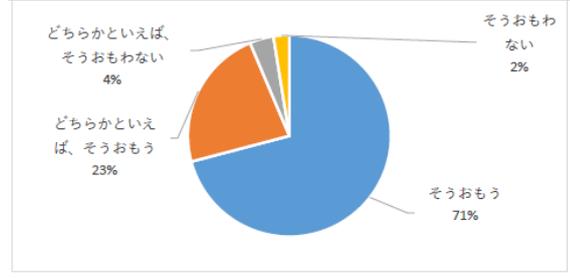
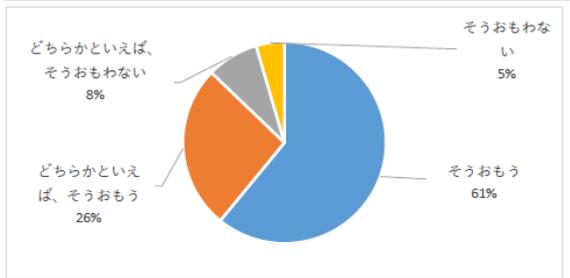
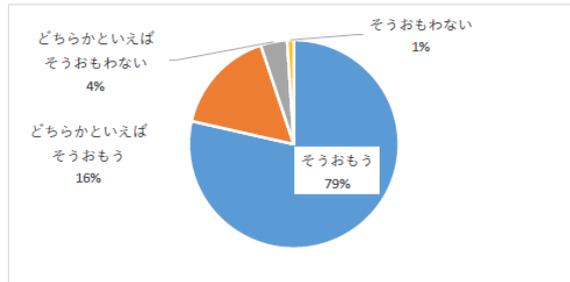
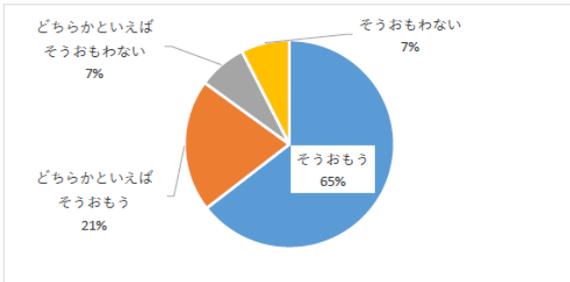
(3) じゆぎょうでわからなかったところを、せんせいやともだちにきいて わかるようにしている。



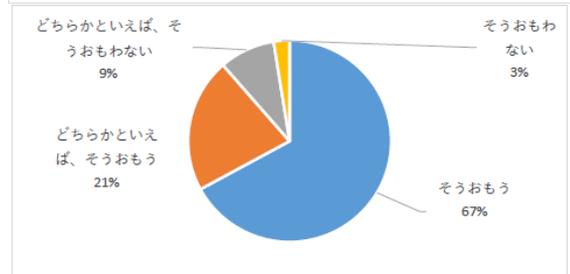
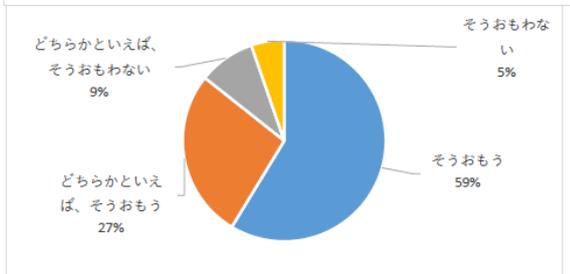
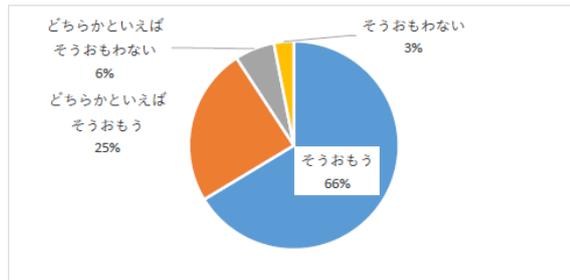
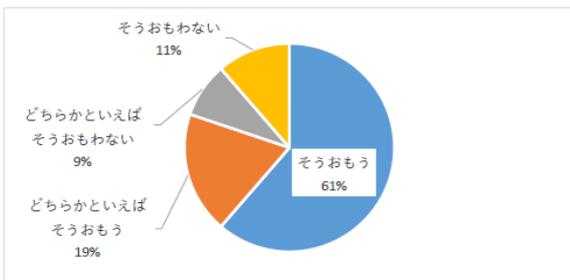
宗小

宗三小

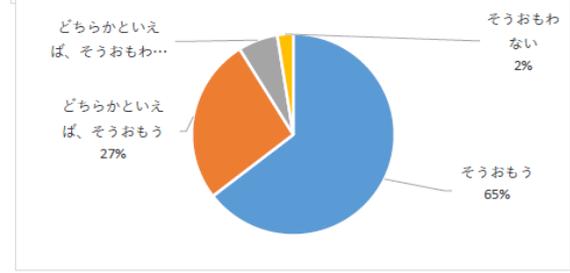
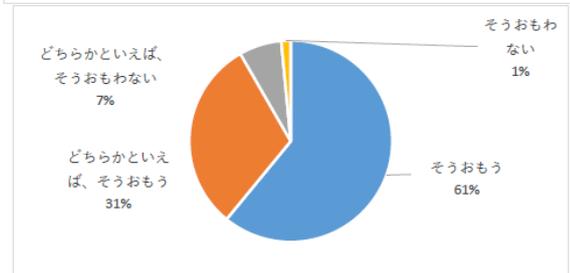
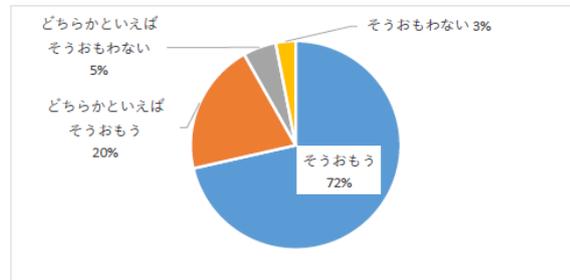
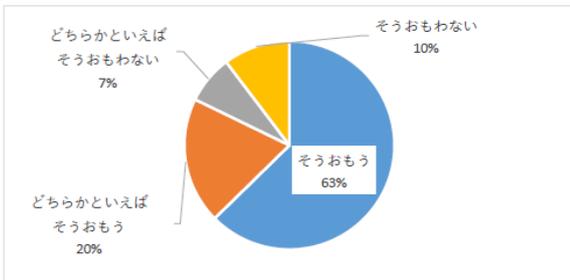
(4) ほかがくねんと こうりゅうすることができる。



(5) ともだちや じぶんのよさを みつけることができる。



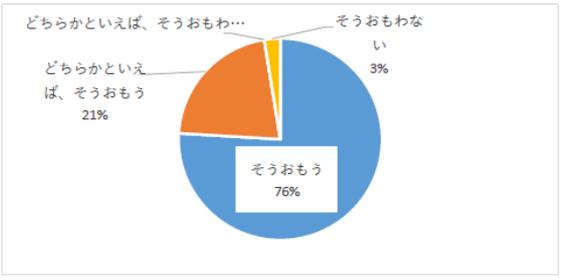
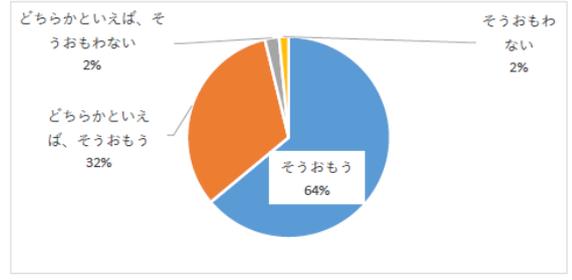
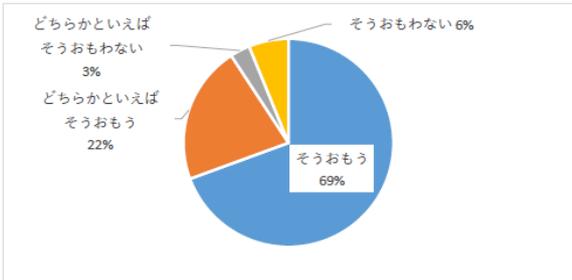
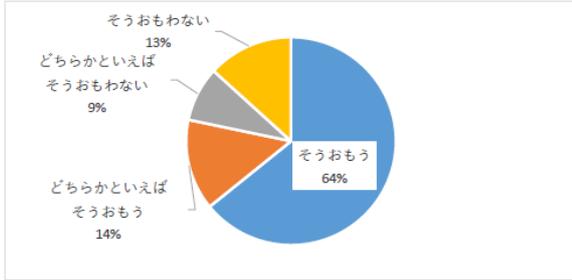
(6) いろいろなせんせいが、じぶんのよいところをみとめたり、そうだんに のったりしてくれる。



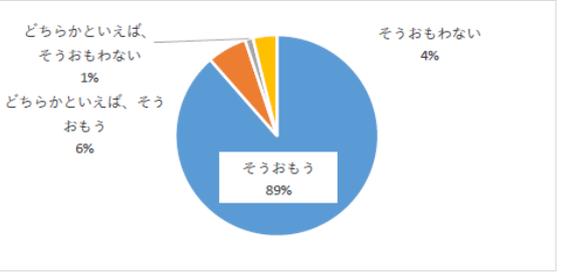
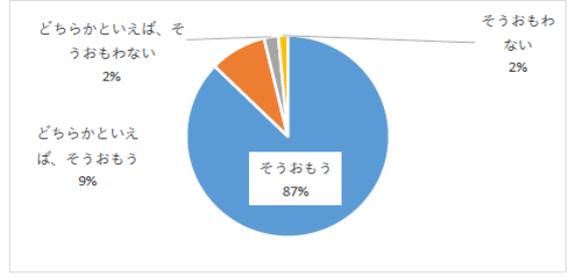
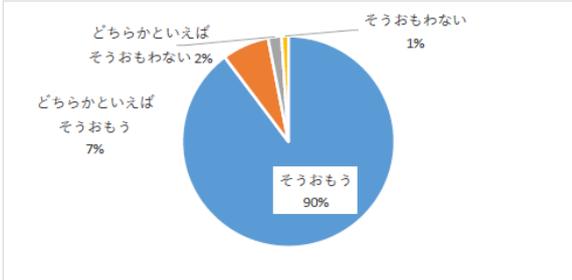
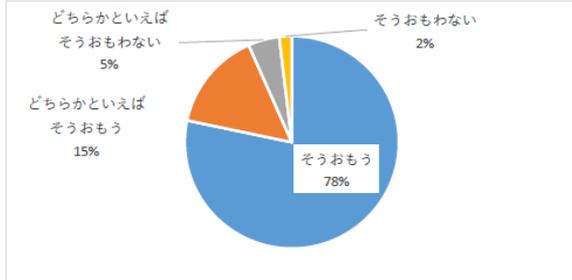
宗小

宗三小

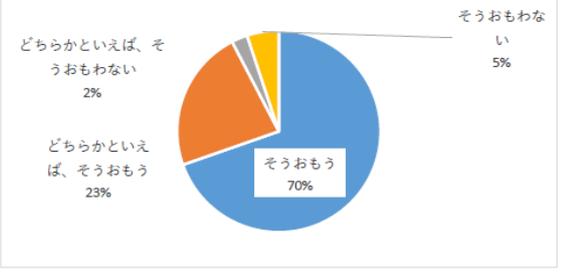
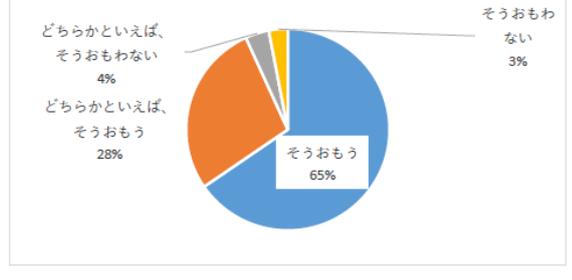
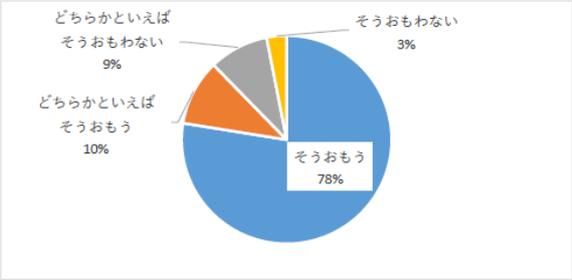
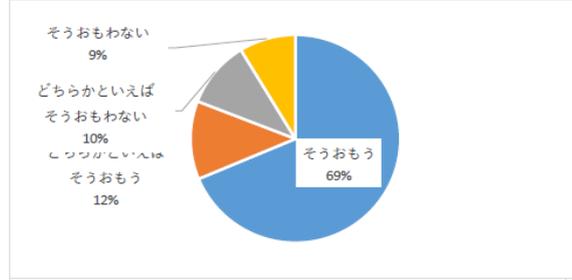
(7) いろいろなせんせいが、じぶんにかかわって、じぶんのちからを のばしてくれる。



(8) むねおかや しきしの しぜんや、ちいきにある おみせを たいせつにしたい。



(9) むねおかや しきしのぎょうじ (おまつり・ちょうないかいの ぎょうじ) に さんかしたりまなんだりして、じぶんのできることを かんがえたい。



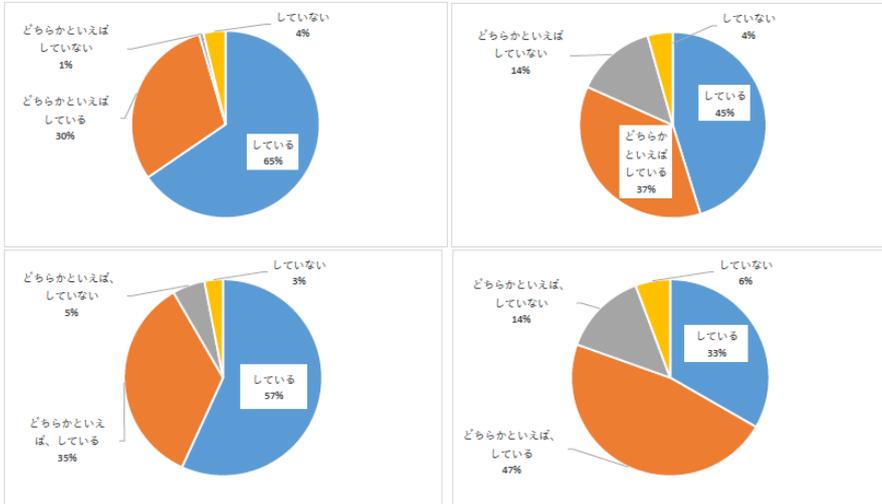
(3) 小学校中学年アンケート結果まとめ

上段 7月
下段12月

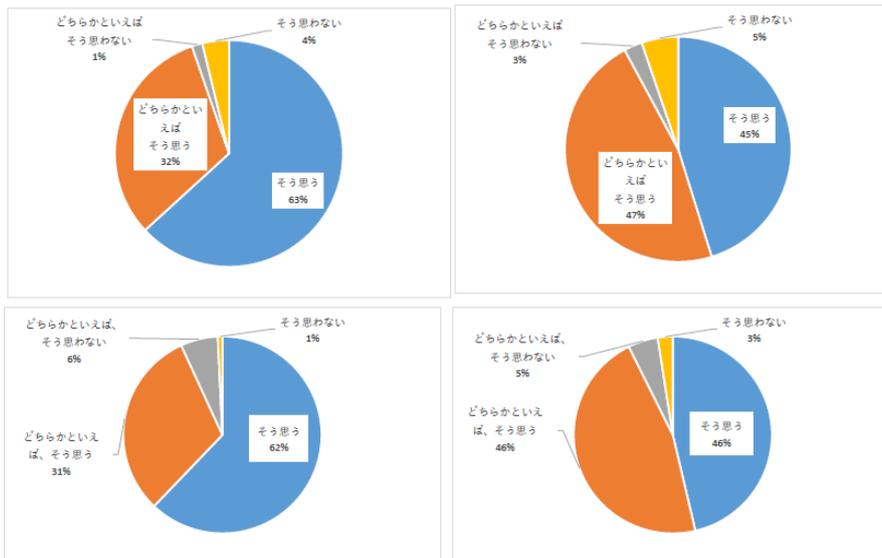
宗小

宗三小

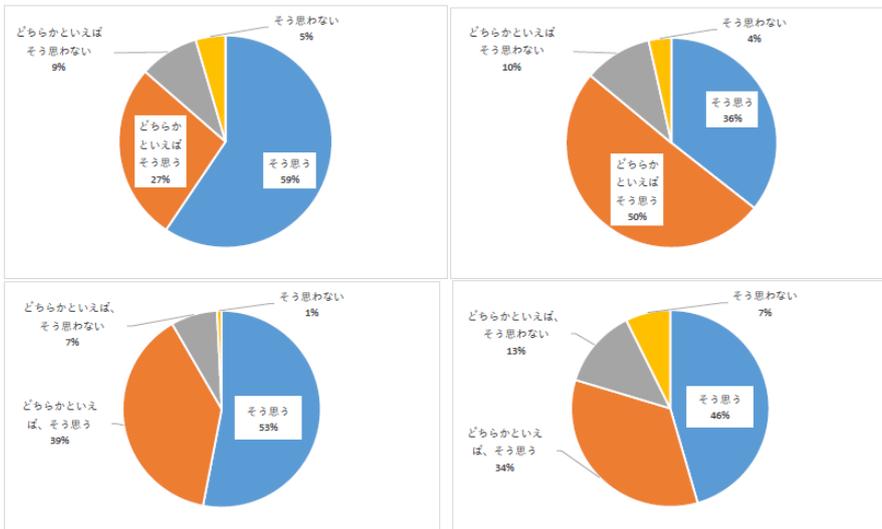
(1) 進級する自分を見つめ、自分の夢や目標に向かって努力している。



(2) 学習することによって、自分が成長できていると感じる。



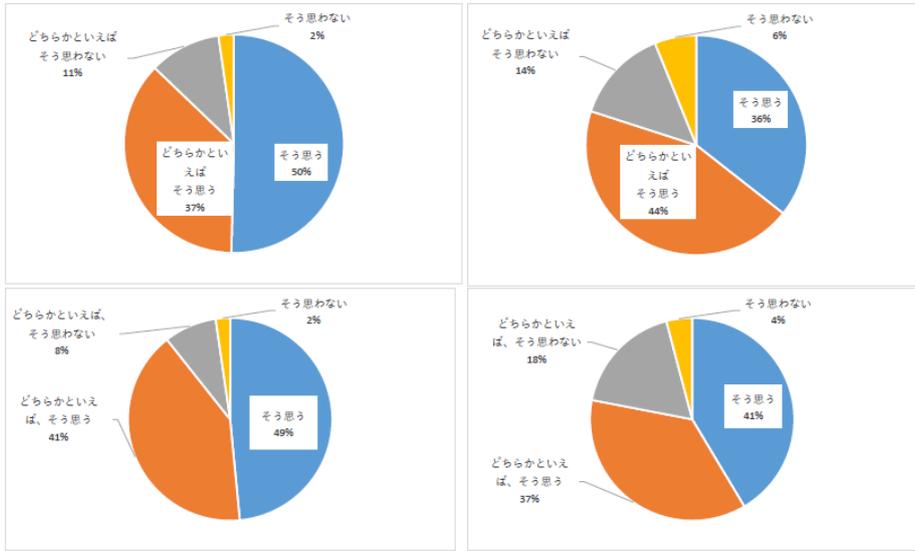
(3) 授業でわからなかったところを、先生や友達に聞いてわかるようにしている。



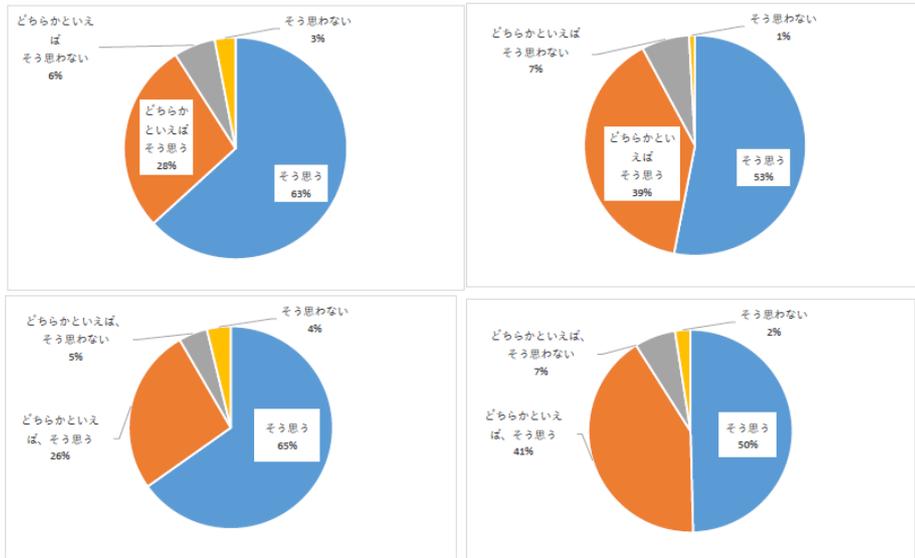
宗小

宗三小

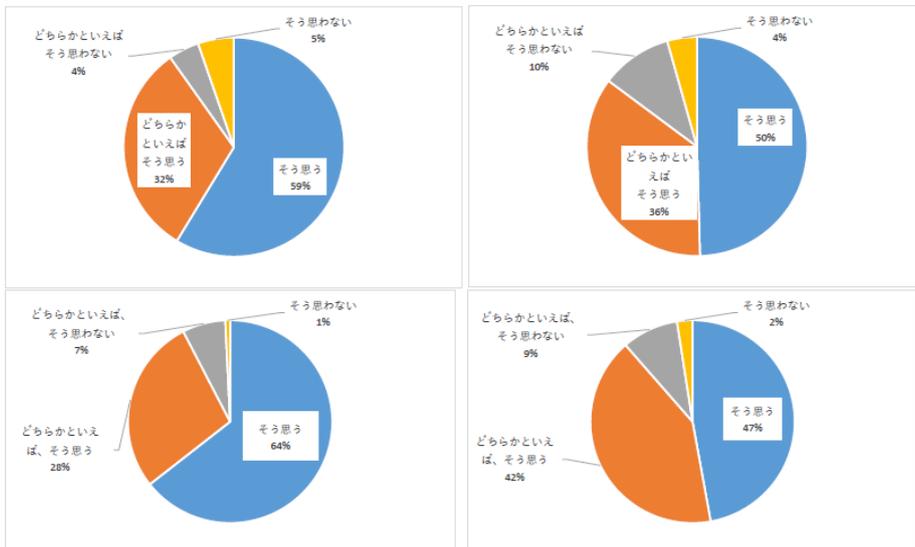
(4) ほかの学年と交流することができる。



(5) 友だちや自分の良さを見つけることができる。



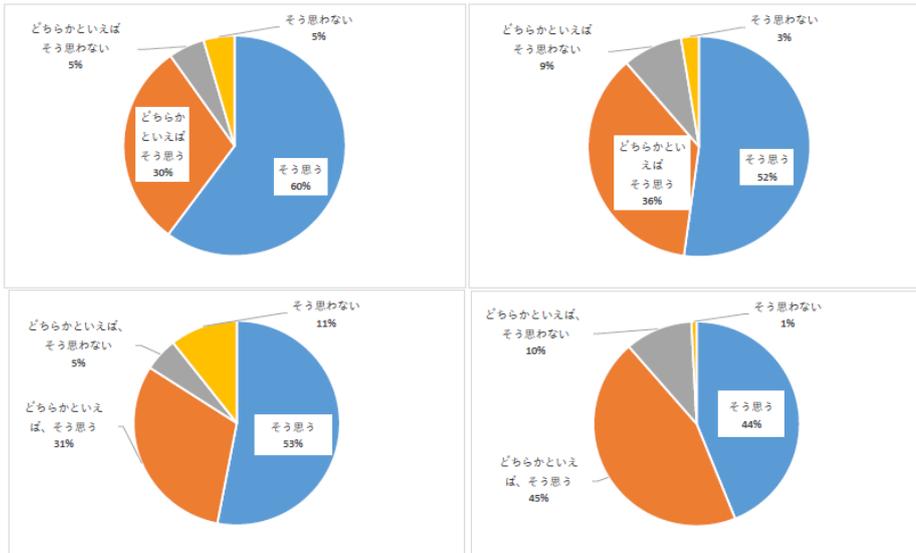
(6) いろいろな先生が、自分のよいところを認めたり、相談にのったりしてくれる。



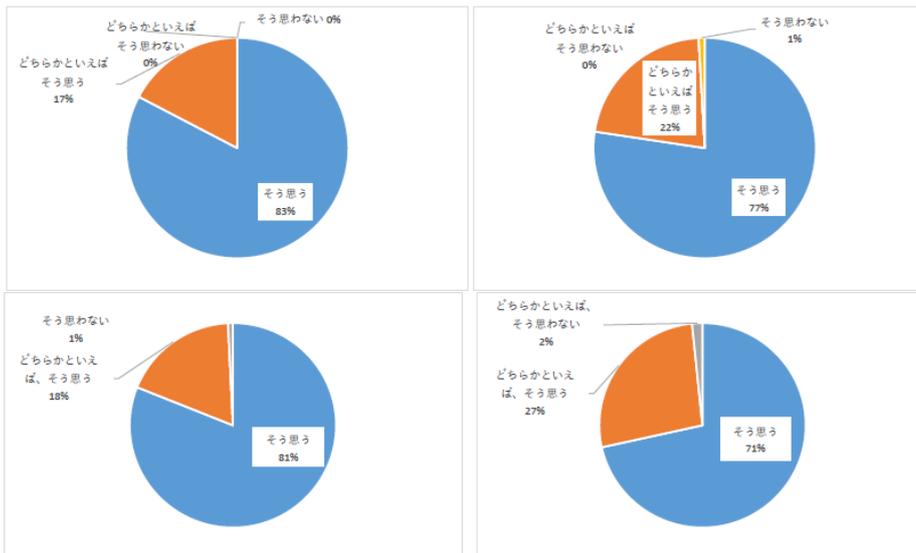
宗小

宗三小

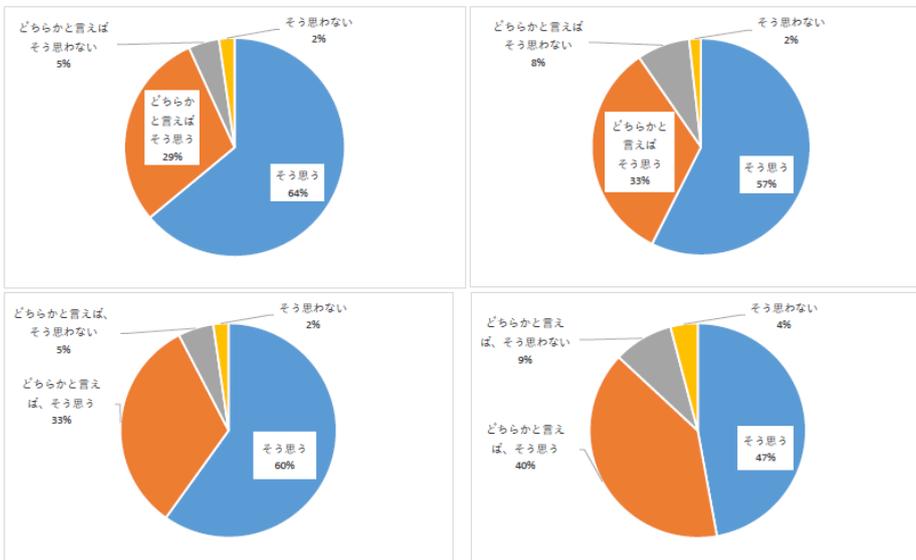
(7) いろいろな先生が、自分に関わって、自分の力を伸ばしてくれる。



(8) 宗岡や志木市の公共施設を大切にしたい。



(9) 宗岡や志木市の行事（お祭り・町内会の行事）に参加したり学んだりして、自分にできることを考えたい。



(4) 小学校高学年・中学生アンケート結果まとめ

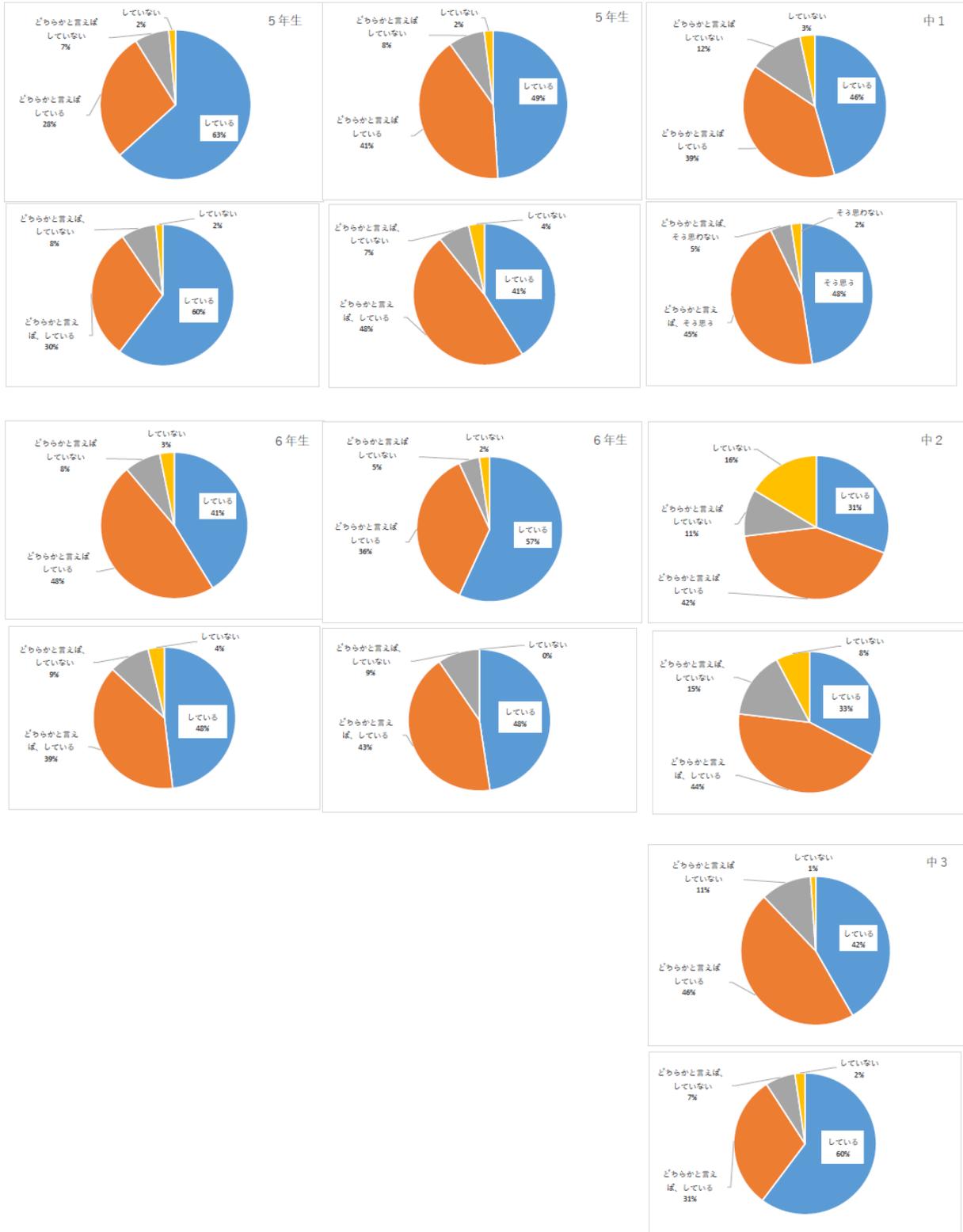
上段 7月
下段 12月

宗小

宗三小

宗二中

(1) 進級や進学する自分を見つめ、将来の夢や目標に向かって、努力している。

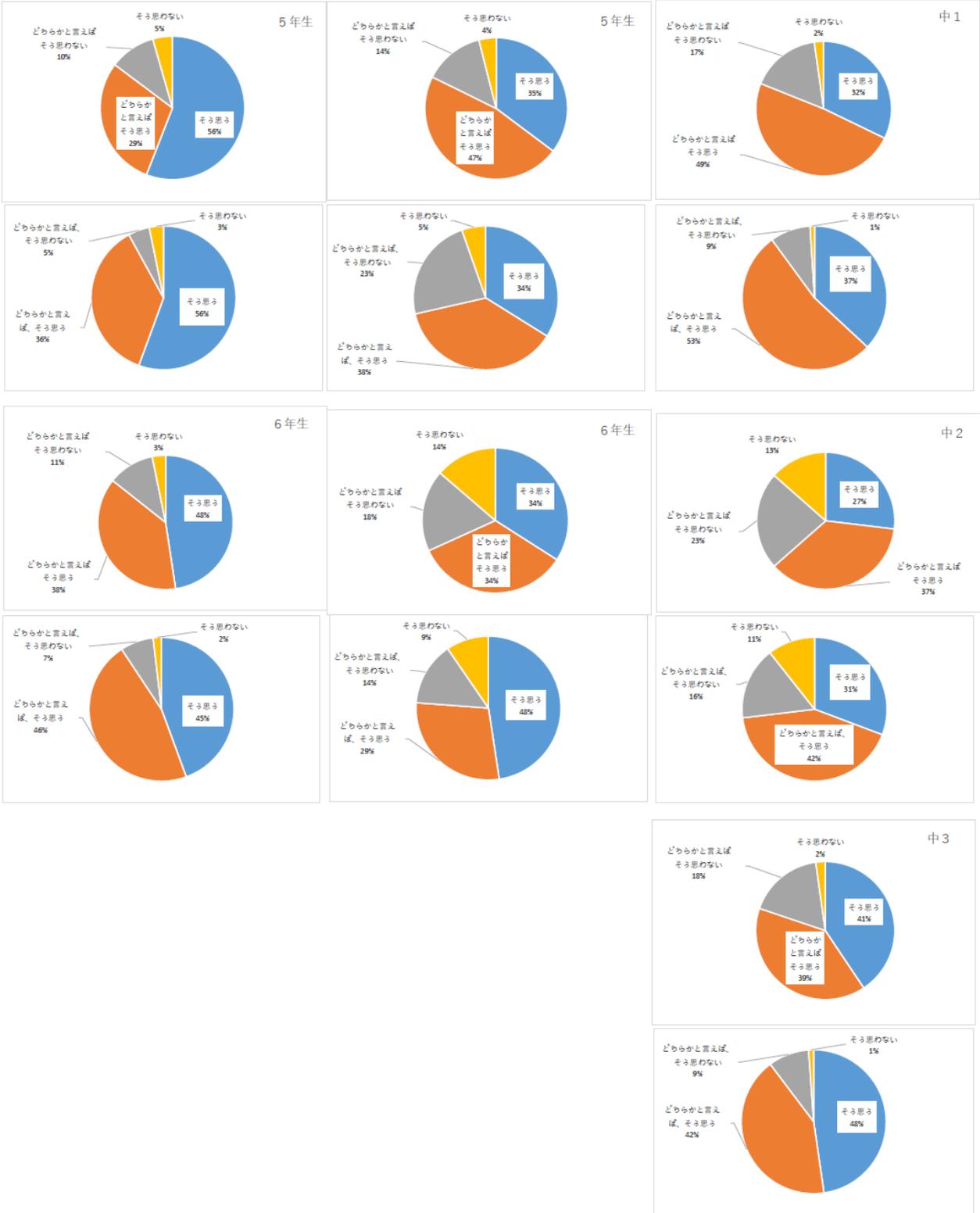


宗小

宗三小

宗二中

(3) 学習のつまずきを先生や友達に相談して解決できる。

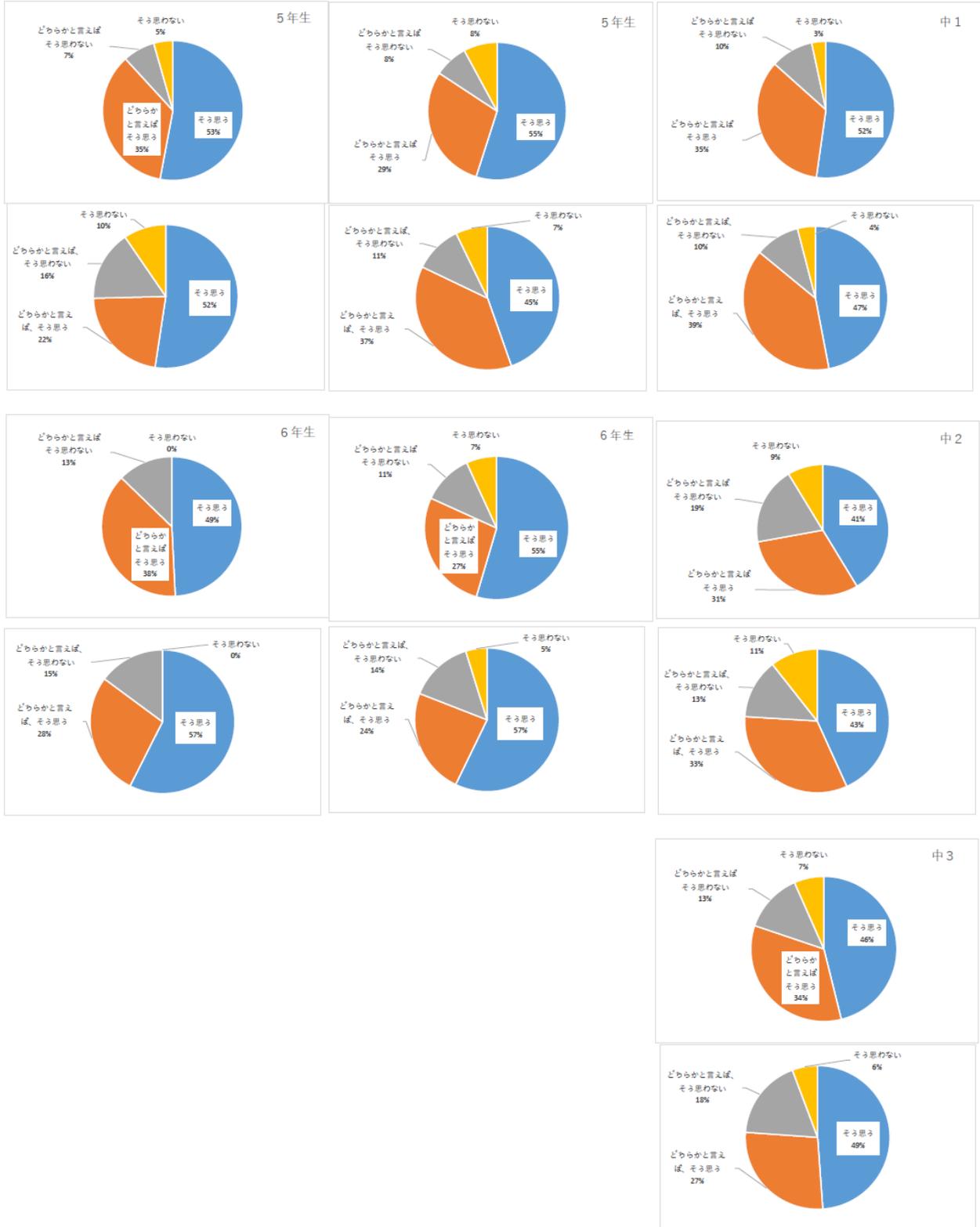


宗小

宗三小

宗二中

(4) 他の学年や学校の児童生徒と交流することができる。

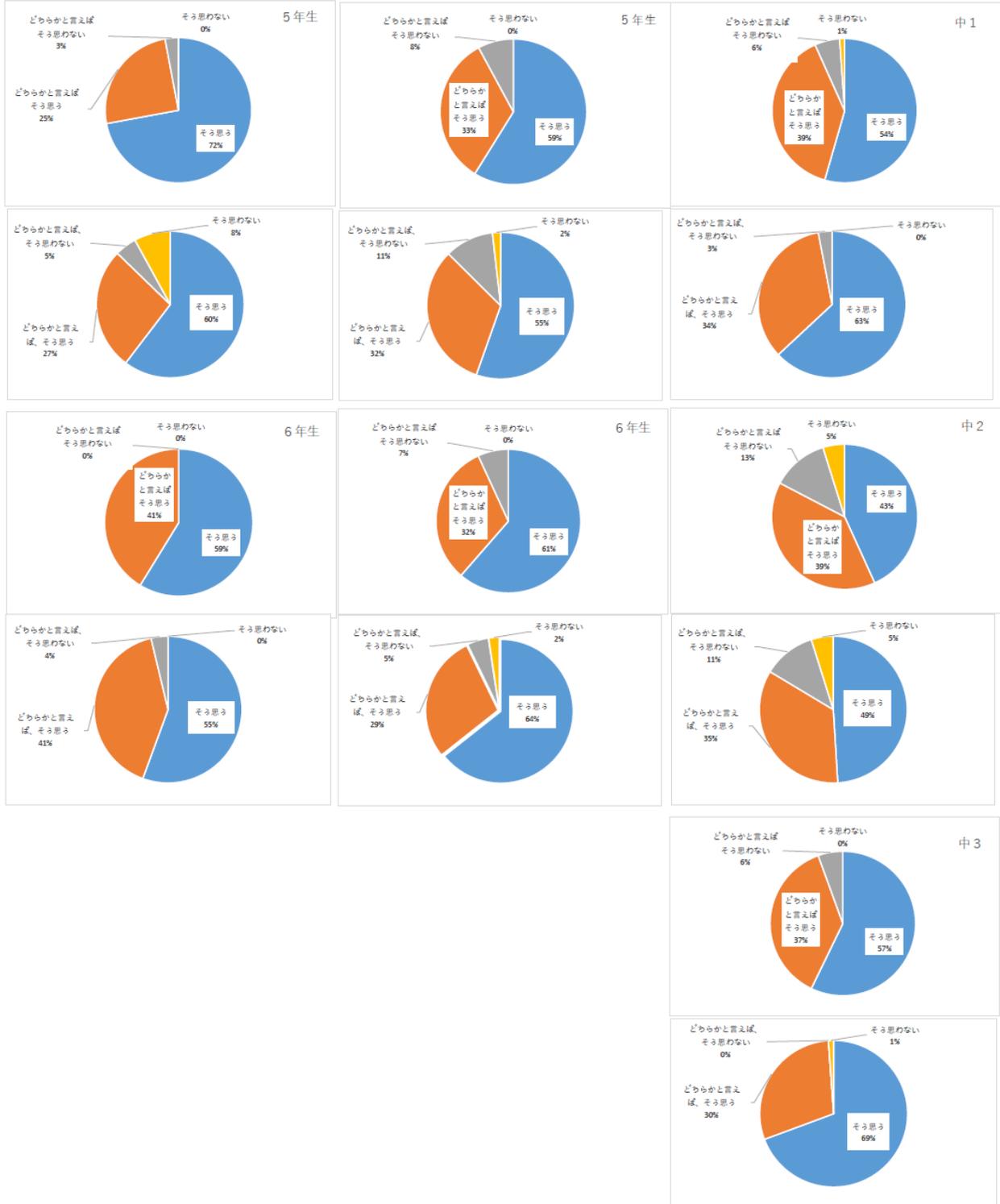


宗小

宗三小

宗二中

(5) 友だちや自分の良さを見つけることができる。

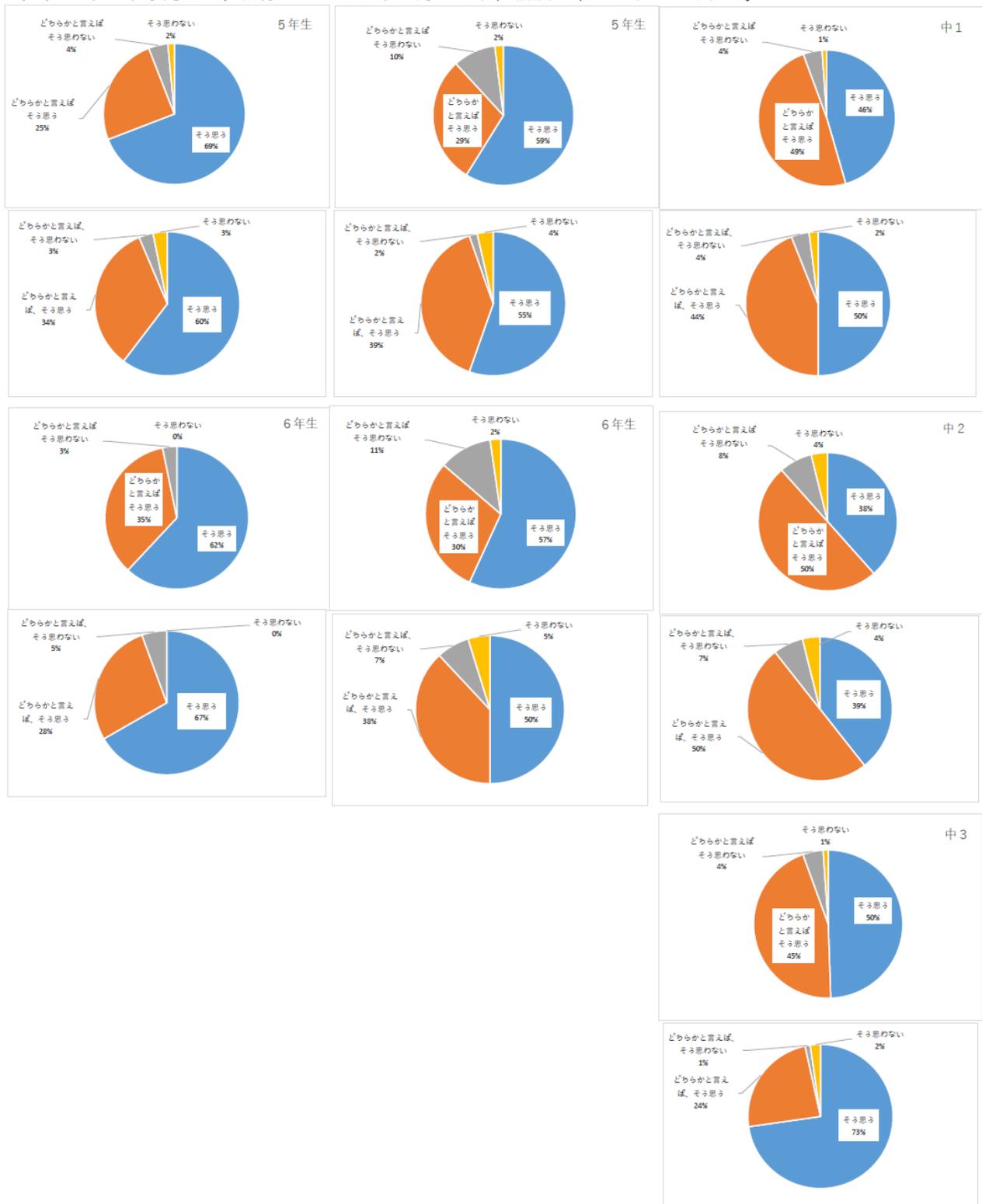


宗小

宗三小

宗二中

(6) いろいろな先生が、自分のよいところを認めたり、相談に乗ったりしてくれる。

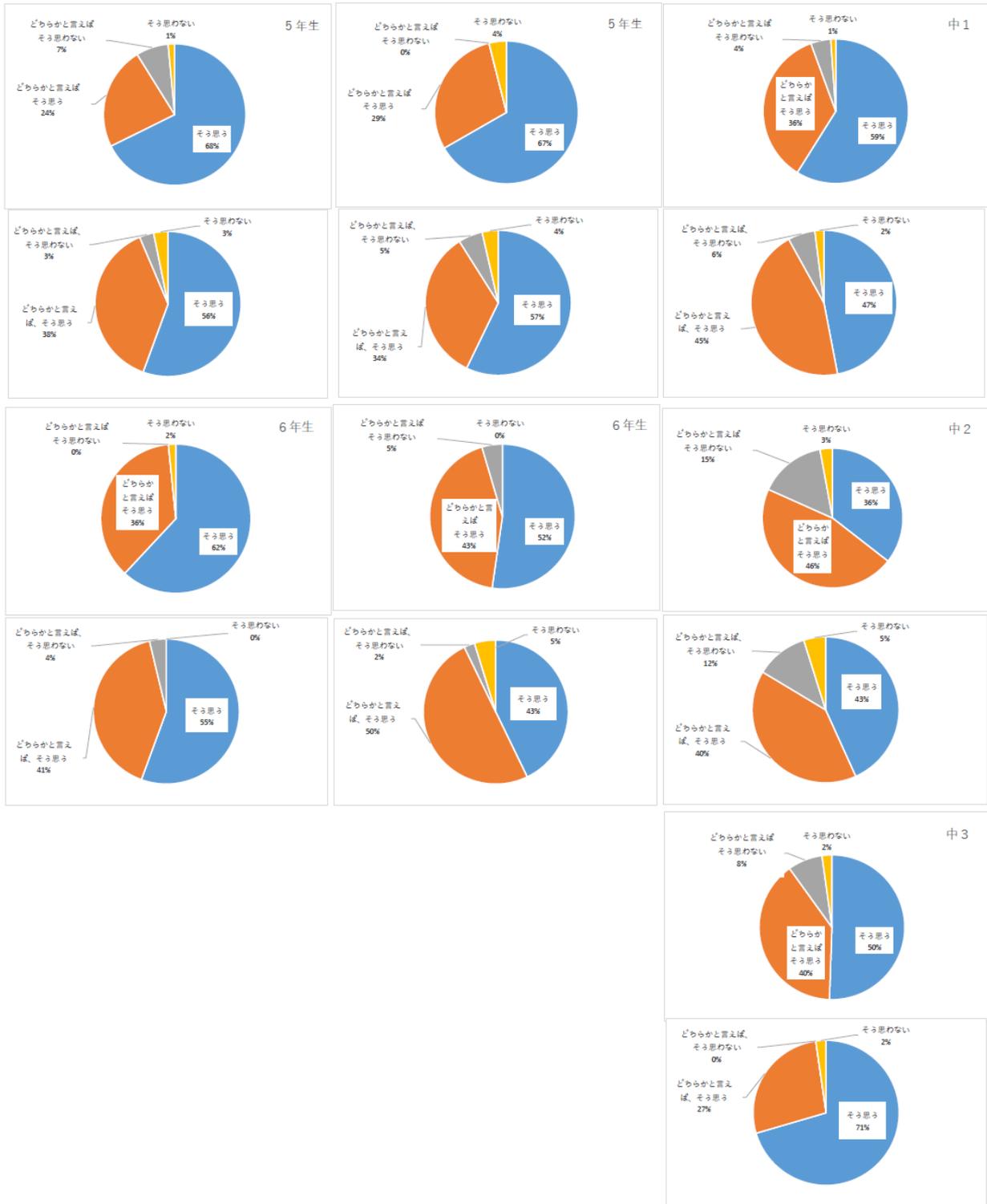


宗小

宗三小

宗二中

(7) いろいろな先生が、自分に関わって、自分の力を伸ばしてくれる。

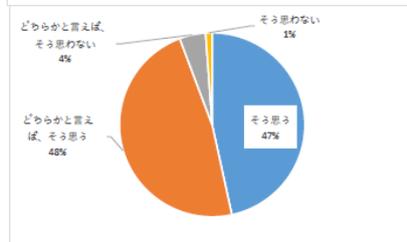
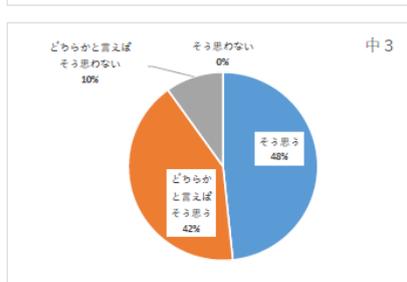
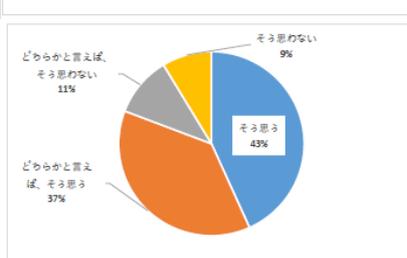
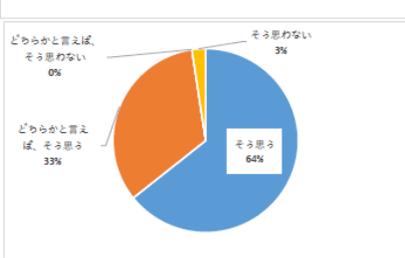
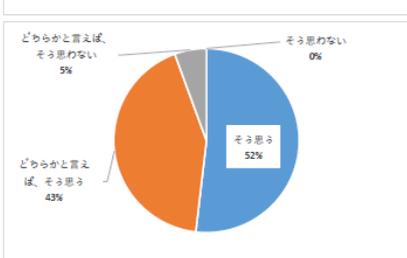
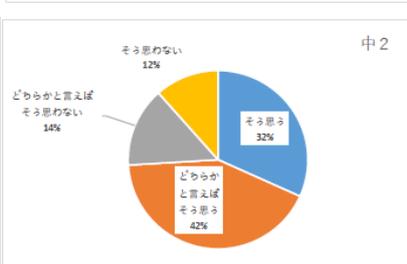
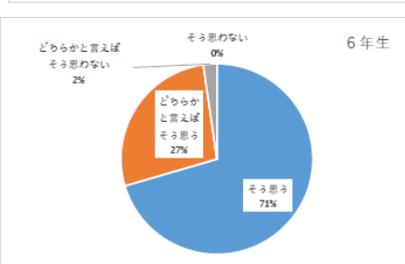
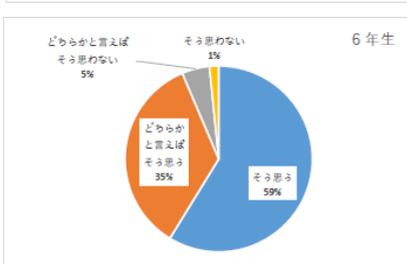
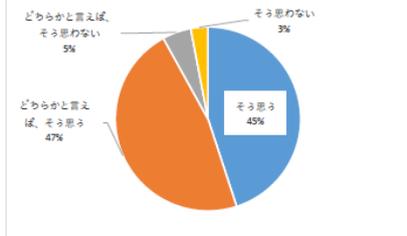
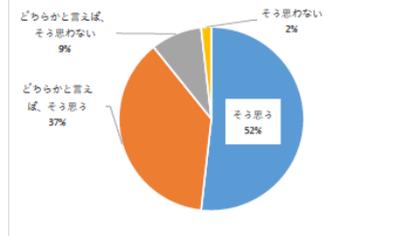
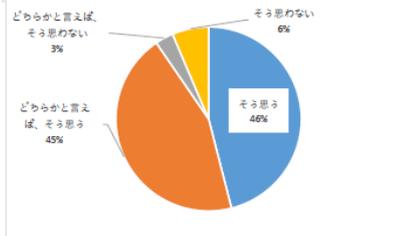
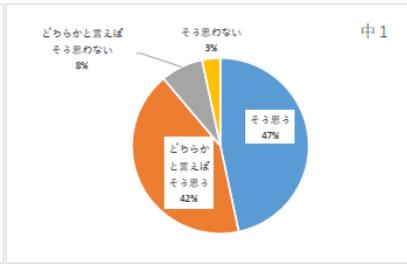
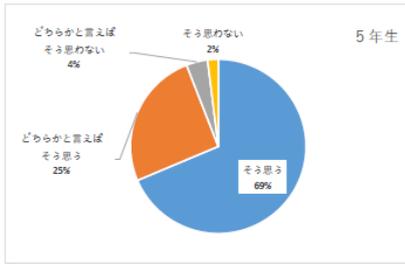
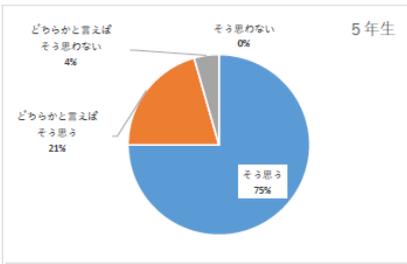


宗小

宗三小

宗二中

(8) 宗岡や志木市の自然、歴史、文化、産業を大切にしたい。

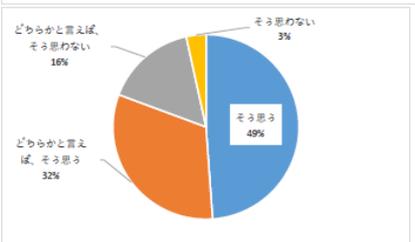
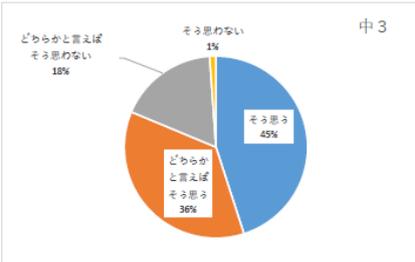
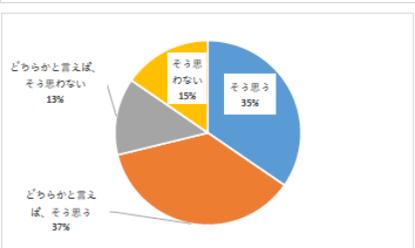
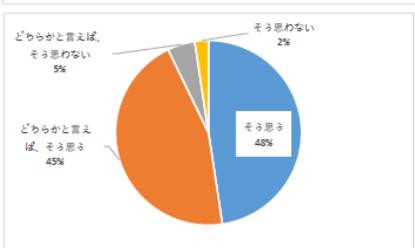
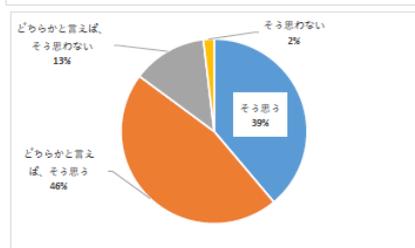
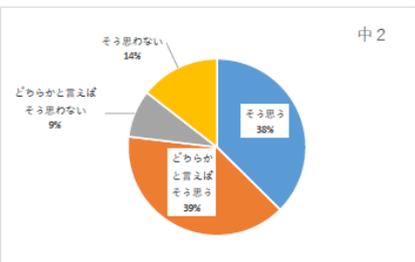
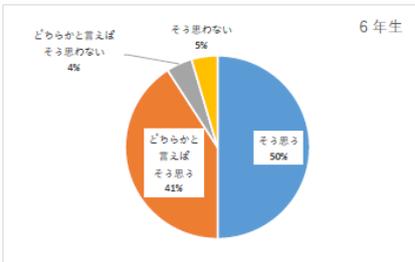
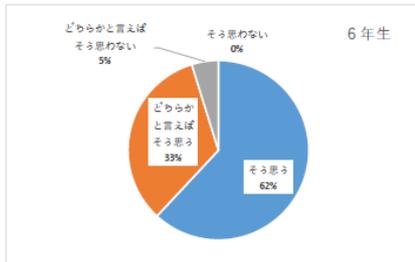
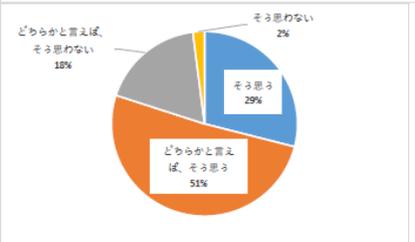
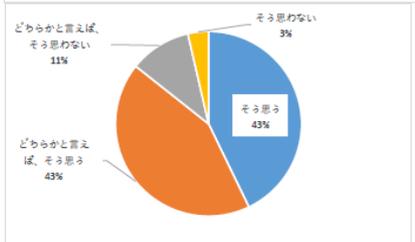
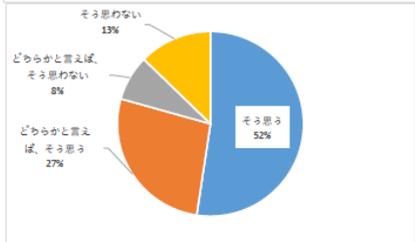
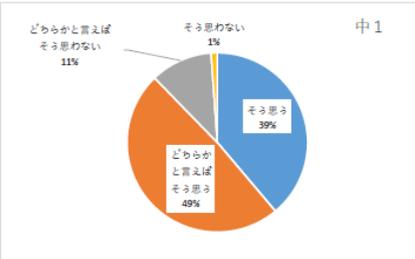
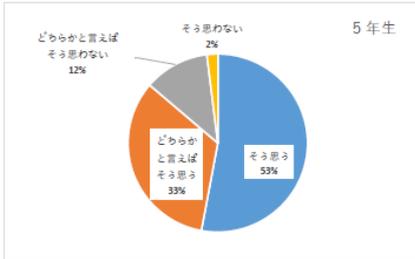
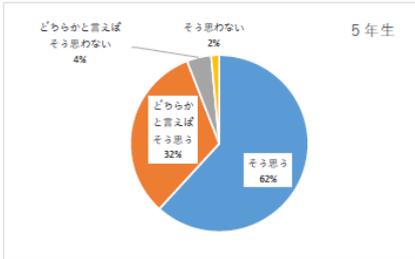


宗小

宗三小

宗二中

(9) 宗岡や志木市の行事（お祭り・町内会の行事）に参加したり学んだりして、自分にできることを考えたい。



(5) せせらぎアンケート結果分析

教職員

- ・小学校教職員は、全問においてほぼ80%以上が評価のA・Bと答えている。
- ・宗小は7月に比べ12月の評価のA・Bが全問で増えた。
- ・(2)では、7月は中学校教職員の38%が評価のCだったが、12月は23%に減少した。今年の研修や合同の行事、交流を通して、9年間の育ちを意識した生徒指導を行う教職員が増えた。
- ・(5)では、7月は中学校教職員の33%が評価のCだったが、12月は27%に減少した。評価のAも増え、多角的な視点で見る意識が高まっている。
- ・小学校と中学校で意識が近づいてきている。(生徒指導・児童生徒を多角的な視点で見る)

低学年

- ・全問において評価をA・Bと答えた児童が80%以上である。7月と12月では、ほぼ同じ結果であった。
- ・(6)(7)7月に比べ12月では評価のA・Bと答える児童が95%に増えた。(先生との関わりを感じている児童。)
- ・(8)(9)95%の児童が、宗岡の自然や地域にあるお店等を大切にしたいという思いがあり、93%の児童が宗岡や志木市の行事に参加したり学んだりして自分にできることを考えている。
- ・少数だが7月と12月ともに全問でD評価の児童がいる。

中学年

- ・(2)7月と12月ともに学習することによって成長を実感している児童が90%以上で多い。自己肯定感が高い児童が多い中、低い児童も一定数いる。学力差が出てきているためだと考えられるが、7と12月で大きな変化はなかった。
- ・(8)7月と12月ともに地域の公共施設を大切にしたいと思っている児童がほとんどである。(9)地域の行事にも関心があり、自分にできることを考えたいという児童が多い。2年生までの生活科、社会科や総合的な学習の時間の学習の成果と考えられる。

高学年・中学校

- ・全問において評価がA・Bの児童生徒が多くおおむねよい。7月と12月では、結果に大きな差があまりなかった。
- ・(3)の学習のつまづきを解決できていない割合が多く、学習に不安を抱えている児童生徒が少なくないが、7月よりも12月は評価がA・Bの生徒が増え、先生や友達に相談して解決している児童生徒が増えている。
- ・(8)(9)宗岡の自然、歴史、文化、産業を大切に思ったり、地域の行事に参加して自分にできることと考えたりして、地域の将来のことを考えている児童生徒が多い。
- ・全問を通して中2のD評価が多いが、7月よりも12月は評価がA・Bの生徒が増えた。
- ・全問において中3の評価がA・Bの生徒が増えた。

全体（児童・生徒）

- ・全問において評価のA・Bを答えた児童生徒が多い。7月と12月では、結果に大きな差があまりなかった。質問項目や学校、学年によっては評価のC・Dが増えたものもあり、自己を客観的に捉えられているようになった結果であると考えられる。
- ・地域の自然・歴史・文化・産業を大切に思い、地域の行を事に参加するなど、宗岡に愛着をもっている。
- ・学習することで自己の成長を感じてはいるが、学習のつまずきを解決できていない児童生徒が学年を追うごとに増加している。
- ・他の学年・学校と交流をすることがあまりできていないと感じている児童生徒が、学年を追うごとに増加している。三校合同、小中、小小、校内などで、学習や行事等の交流の機会を作っていくことも考えていくと学園としての一体感が増すのではないかと考える。

8 研究の成果と課題

成果

- 3校合同で研修を行うことで、3校の教職員の一体感が生まれ始めた。9か年を意識した指導を各校で始めることができた。
- 小・中学校の教員が義務教育9か年を見通した学びの積み重ねや成長モデルを共有して、小中一貫カリキュラムシートを作成した。特に、年間指導計画等について、指導の重点、評価、学習の進め方等を明確にし、児童生徒の実態を踏まえた取り組みを焦点化することができた。
- 3校の教職員がせせらぎ部会で話し合い、協働することで、教科指導および生徒指導・教育相談の両面で児童・生徒理解を深め、進級・進学ギャップ軽減や、意図的かつ一貫性のある指導の在り方へとつなげた。
- 各部会の推進にあたって、オンライン会議やクラウドデータによる共同編集を取り入れたことにより業務負担（会場・資料準備や学校間移動等）を軽減することができた。
- 定期的な部会運営が計画されたことで、学校間のコミュニケーションが円滑になり、効率よく協議を深めることができた。
- 7月と12月に児童生徒、教職員にアンケートを実施したことで、各校及び各学年における実態や意識の変容を把握することができた。

課題

- 部会の話し合いや取組に学校ごとで教職員の温度差があったが、徐々に改善していった。部会の持ち方については対面とオンライン双方の利点を活かした開催を計画していく。
- 情報教育の連続性に課題が残った。次年度はICTを教科部会で実践共有していく。また、各教科のカリキュラムシートに効果的な実践等を盛り込んでいく。
- 授業規律や家庭学習について、教科を超えた取組として家庭へ啓発していく。
- 教職員間で他校の授業を見合う機会を設けることができなかった。各校の様子を知ることで、9か年を見通した児童生徒への指導がより効果的に行われるよう、今後は小小・小中で授業見学や乗り入れ授業を増やしていく。
- 「むねおか学」を軸とした小中一貫教育を推進しているので、次年度は教職員アンケートに「地域への愛着に関する指導意識」についての調査項目を加える。